



栃木県立足利南高等学校

令和5年度 総合学科通信 第2号

No. 66
(2023/12/22 発行)

一日体験学習



今年の一日体験学習は、8月1日に、中学生とその保護者に対して実施されました。本校の教育上の特色や内容を理解してもらうことで、中学生の進路選択に生かしてもらうためです。当日は、足利・佐野を中心として近隣の中学校から、生徒382名、保護者263名の参加がありました。コロナ感染症が5類に移行したとはいえ、猛暑も予想されたため、昨年同様に冷房の効く教室を会場としての実施となりました。

全体会では学校紹介DVDを放映しました。本校の「総合学科」「単位制」という特色を分かりやすく説明したもので、2年次からの「系列」や3年次に実施する「課題研究」、授業の時間割を自分で作成することなど、生徒自身の主体的な活動が中心となっていることがよく分かるものでした。また、運動部や文化部の活動など、生徒の学校生活の様子も紹介されていました。その後、希望者には英会話、科学実験などの体験授業を受けてもらいました。

参加した中学生や保護者からは、明るくとても良い学校だと思った、パンフレットでは分からない部分も詳しく説明してもらいよく理解できたなど、とても好評のうちに終了しました。

第19回 青南祭

特別活動部長 厚木 範之

『今日、青春になりました。青南祭編。』を統一テーマに第19回 足利南高等学校学校祭「青南祭」が9月1日（金）、2日（土）の2日間にわたって開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大により、長らく中止や非公開になっていた青南祭が、5年ぶりに一般公開の形で開催されました。生徒たちは、感染対策に注意を払いながら、様々な企画や展示を準備しました。残暑厳しい中で多くの来客が訪れたことにも感謝し、熱心に接客や説明を行いました。青南祭は、コロナ禍の中で生徒たちが団結し、学びや楽しみを共有することができた貴重な機会となりました。生徒たちは、自分たちの成果を発表することで、自信や達成感を得ることができました。また、来客の方々との交流を通じて、社会とのつながりや責任感を感じることができました。第19回の学校祭「青南祭」は、生徒たちにとって忘れられない思い出のひとつとなりました。



「私たちの青南祭」



3年1組 佐々木 妃照（佐野西中）

9月1日、2日にコロナ禍となって、初めて2日間の青南祭が開催できました。私たちの学年は1年次は1日しか開催できず、何より校内発表のみでした。なので、少し寂しい感じがありましたが、今回は家族だけでなく、他校の方にも沢山来場していただき、皆さんとても賑やかな日を過ごすことが出来たと思います。

私たちのクラスはパンやドリンクを販売したのですが、嬉しいことに両日ともにあっという間に完売してしまい、全く嬉しい誤算となりました。ジブリ映画の「魔女の宅急便」を意識してワンピースを着たり服装を黒や紺で揃えたりしました。クラスの装飾もなかなか進まず終わらないのではないかと不安でしたが、皆が手を差し

伸べて協力してくれたこともあり、無事完成しました。3年1組や周りの先生方には感謝いっぱいです。

修学旅行

2学年副主任 岡田 智子



10月23日から4日間、広島・関西方面への修学旅行を実施しました。コロナも5類に移行し、制限のない状態で実施できるとはいえ、世間ではインフルエンザが流行するなど、油断のできない状態ではありました。予定通り無事実施できましたのも、ご家庭の協力と生徒たちの努力のおかげと感謝しております。ありがとうございました。

広島では平和記念資料館や公園内の見学を通して、原爆の恐ろしさと命の大切さを改めて実感したようでした。外国からの観光客が多く、混み合う館内ではありましたが、生徒たちは真剣なまなざしで展示物と向き合っていました。

自由行動ではUSJが一番人気でしたが、道頓堀などの大阪の街、京都に足を延ばした班もあり、互いを尊重しながら楽しい時間を過ごすことができたようでした。

この経験から得たものを、今後の学校生活や進路選択に活かしてくれることと期待しております。

「修学旅行で学んだこと」

2年4組 山村 琉唯（足利三中）



私が修学旅行で学んだことは2つあります。1つ目は、戦争の恐ろしさです。平和記念公園を歩きながら原爆ドームや平和の灯などの説明を受けました。資料館では戦争の状況が写真で残されていたり、遺物が展示されていたりしましたが、思っていたよりリアルで驚きました。見ているだけで辛くなってしまう人もいましたが、戦争の恐ろしさについて改めて学ぶことができました。2つ目は仲間と協力することの大切さです。特に3日目は班別行動で、自分たちだけで移動しなければなら

なかったのが不安もありました。しかし、班員みんなで役割を決めたり、自分で何ができるかを考えたりして、協力して行動することができました。

修学旅行では、たくさんのことを学べてとてもいい経験となりました。



スクールインターンシップ

1学年主任 柳澤 美紀

10月26日（木）、1年次では本年度2回目のスクールインターンシップを実施しました。この行事は「産業社会と人間」の授業の一環として各自の希望した上級学校を訪問し、施設見学や模擬授業を体験しています。1回目の6月の訪問では県内や近隣の埼玉、群馬の上級学校で実施しましたが、今回は9つのコースに分かれ県内、埼玉、東京方面の13校を訪問してまいりました。訪問先では在校生との交流をはじめ、各校の特色ある学びの様子に生徒たちは大変刺激を受けたようでした。今回の体験を、日常的な学習活動への意欲の向上、進路選択に向けての動機付けの高まり、新たな学習課題の発見等に発展していけるよう、通常の進路学習はもとより、各教科、特別活動、2年次以降の総合的な学習の時間において役立てて欲しいと思います。



国際理解 LHR

国際理解教育係 星野 一美



令和5年度国際理解教育講演会を、10月30日(月)6時間目に実施しました。講師に栃木県国際交流員メーガン・ハバーストロー先生をお迎えし「アメリカって何?」のテーマで講演していただきました。アメリカの文化、歴史、言語などについてのわかりやすく楽しい講演でした。アメリカに関するクイズではALTのデニス先生の協力もあり、生徒の皆さんも活発に参加して大いに盛り上がりました。講演後の感想文では、「アメリカの国旗は州の数が増えるごとに変わっていったのがわかりました。」「ことわざが面白かった。」「自由の女神がフランスから送られてものだと聞いて驚いた。」「アメリカは多面、多文化、多様性があることが分かった。」などがあり、異文化を理解し共生を考える良い機会となりました。



特色のある授業

「日本史探究」



9月28日(木)2年生日本史探究の選択者が、鑓阿寺、足利学校への校外学習に出かけました。現地では、文星芸術大学の太澤慶子教授から、説明を受けました。鑓阿寺は、本堂の建築様式(禅宗様)の説明や、仏像の説明など授業で学んだことを、本物を見て確認することができました。また、鑓阿寺は足利義兼の邸宅であったことから、義兼の鎌倉幕府での地位、義兼の妻、時子の悲しい物語など、教科書にはない興味深い歴史も学ぶことができました。足利学校では、当時「占い」を学ぶ学校として有名だったというお話を聞き、生徒たちは驚いた様子でした。孔子の教え「中庸の教え」(満ちて覆らないものはよい)も体験してきました。

地歴公民科 後藤 千春



「保育実習」



10月25日(水)の午前中、3年生の「子どもの発達と保育」にて、保育実習に行っていました。3時間程度の短い時間でしたが、2～5歳児クラスに数人ずつに分かれ実習しました。お散歩に同行して“身近にある秋”を探したり、外遊びでおいごっこや砂場遊びをしたり、たくさんの貴重な経験をさせていただきました。また、トイレや着替え、昼食時など生活習慣にかかわる場面にも参加させていただき、授業で学んだことを改めて学びなおす機会となりました。最初は緊張していた様子でしたが、徐々に打ち解け自ら積極的に子どもたちにかかわる様子が見られました。学校に帰ってきてからも実習のまとめに熱心に取り組み意見交換も活発に行うことができたので、学びの多い実習にすることができたと思います。

家庭科 関 悠美子



「放射線・エネルギーに関する出前授業」



11月1日(水)日本原子力文化財団より東京都市大・羽倉尚人准教授にお出でいただき講義及びフィールドワークを指導していただきました。講義では放射線の人体に与える影響、各単位の意味、放射線利用の現状など我々の生活にかかわる内容を題材に説明していただき生徒の理解が深まったものと思われます。また、実習では放射線の軌跡を観察するための簡易装置を各自で作成し、初めて見る霧箱内の軌跡に生徒は興味・関心が著しく高まったようでした。フィールドワークとして、校舎内外の自然放射線量を測定し、場所毎の数値の違いについて考察し、助言をいただいたことも非常に良い経験になりました。

理科 伊東 徹



芸術鑑賞会

芸術科 渡邊 瑠美



11月8日、足利市民プラザにて芸術鑑賞会が行われました。足利市では毎年、市内の高校に通う生徒が同じ作品を鑑賞しています。今年度はザ・ソウルマティックスによる、ゴスペルコーラスを鑑賞しました。オリジナル作品や讃美歌、聞いたことのある映画音楽などのプログラムで、様々なところに注目しながら楽しめたようです。鑑賞後の感想では、「迫力のある演奏でとても感動した。」「私たちも歌ったり手を叩いたりして参加できたのが楽しかった。」「メッセージがどれも素敵で心に響いた。」などと述べられていました。生で演奏を聴き、ゴスペルの魅力を感じることでできる良い機会となったようなので、身近な芸術文化にもさらに関心を持ってもらいたいです。来年度は演劇鑑賞の予定です。



避難訓練

健康指導部長 千野 正博



今年度は、生徒の避難訓練及び職員による通報訓練に加えて、栃木県庁消防防災課、足利市消防本部、足利市消防団の方々による、放水訓練、煙路体験等の活動を行いました。

放水体験では、消防団の方が簡単そうに行っているように見えても、実際には水圧の強さになかなか射ることができずにいるなど、身をもって大変さを感じることができました。煙路体験では、煙が充満する中を歩くことの怖さや難しさを体験することができ、実際に避難

する際の意識向上につながったように感じます。また、生徒たちは、消防の仕事というものが消防署員だけでなく、消防団の方もやっていること、そして、消防団の方は普段それぞれに仕事を持っていることなどを知ることができ、消防団というものをより身近に感じることができました。



発行：栃木県立足利南高等学校

教務部広報係

TEL：0284-72-3119(事務室)

FAX：0284-73-2772

TEL：0284-72-3118(職員室)

http://www.tochigi-edu.ed.jp/ashikagaminami/nc2/index.php?action=pages_view_main

